

消災妙吉祥陀羅尼

全文・ひらがなの読み方・正しい唱え方

この PDF について

消災妙吉祥陀羅尼は、禅宗寺院の朝のお勤めや祈祷などで唱えられてきた短い陀羅尼です。災いが鎮まり、人々に吉祥と安穩が訪れることを願います。陀羅尼は古代インドの言葉の音を漢字で写した部分を中心であり、宗派や寺院によって表記・発音・区切り方が異なります。

収録内容

1. 消災妙吉祥陀羅尼の全文
2. ひらがなの読み方と呼吸の区切り
3. 自宅で唱える 6 ステップ
4. 写経の 6 ステップと安全上の注意

大切な注意

読誦は、避難・防災・医療・安全確認の代わりではありません。祈りを通して心を整え、必要な行動や相談につなげてください。

消災妙吉祥陀羅尼の全文

経本によって漢字表記や字体が異なることがあります。

曩謨三滿哆 母馱喃 阿耨囉底 賀多舍

娑曩喃 怛姪他 唵

佉佉 佉呬佉呬 吽吽

入嚩囉入嚩囉 鉢囉入嚩囉鉢囉入嚩囉

底瑟姤底瑟姤 瑟致哩瑟致哩

娑發吒娑發吒

扇底迦 室哩曳 娑嚩訶

表記の違いについて

「鉢囉」を「蓋囉」、「娑發吒」を「娑發吒」、「娑嚩訶」を「娑婆訶」と記す経本もあります。音写や字体の違いを含むため、見慣れない字があっても別の陀羅尼とは限りません。寺院で唱える際は、その寺院の経本と僧侶の発音に合わせてみましょう。

祈りの大意

- 諸仏への帰依 仏さまへ敬意を表し、謙虚な心を保つ
- 災いの鎮静 苦しみや混乱が穏やかになることを願う
- 光明 智慧と慈悲の光が広がることを願う
- 安穏と吉祥 自分だけでなく、人々と社会の調和を願う

ひらがなで読む消災妙吉祥陀羅尼

以下は、禅宗寺院で広く耳にする読み方の一例です。

のーもーさんまんだー もとなん

おはらち ことしゃ そのなん とじと えん

ぎゃぎゃ ぎゃきぎゃき うんぬん

しふらしふら はらしふらはらしふら

ちしゅさちしゅさ ししゅりししゅり

そはじゃそはじゃ

せちぎゃ しりえい そもこ

初心者が呼吸を区切りやすい読み方

1

のーもーさんまんだー／もとなん

2

おはらち／ことしゃ／そのなん／とじと／えん

3

ぎゃぎゃ／ぎゃきぎゃき／うんぬん

4

しふらしふら／はらしふらはらしふら

5

ちしゅさちしゅさ／ししゅりししゅり

6

そはじゃそはじゃ／せちぎゃ／しりえい／そもこ

自宅で唱える 6 ステップ

1

静かで安全な場所を選ぶ

運転中・歩行中・火を扱う最中は避けます

2

姿勢と呼吸を整える

椅子でも正座でも、苦しくない姿勢で

3

合掌して願いを定める

仏さまへの敬意と人々の安穏を心に置く

4

題名を唱える

「消災妙吉祥陀羅尼」と唱えて本文へ

5

経本を見ながらゆっくり読む

間違えても慌てず、次の音から続ける

6

感謝と願いで結ぶ

自分だけでなく周囲の安穏も願う

回数と時間帯

最初は1回を丁寧に唱えれば十分です。朝でも夜でも構いません。夜は家族や近隣へ配慮し、小さな声で読むか、経文を静かに目で追いましょう。恐怖から回数を増やし、生活や睡眠を妨げないことが大切です。

写経の6ステップ

1

机を整え、手を洗う

静かに座り、心を落ち着ける

2

手本と用具を準備する

写経用紙・筆ペンなどを用意

3

題名から一字ずつ書き写す

急がず、呼吸を整えながら丁寧に

4

誤字は案内に従って訂正する

用紙を乱暴に捨てない

5

願意・氏名・日付を書く

手本の形式に合わせる

6

納経先へ事前に確認する

受付方法や納経料を確かめる

唱えるときの注意

- ・他人の不幸・攻撃・支配を目的にしない
- ・治療、避難、防災、安全確認の代わりにしない
- ・回数や発音への恐怖で日常生活を乱さない
- ・必ず守られる、必ず願いが叶うと効果を断定しない
- ・高額な祈祷・伝授・開運商品の契約を急がない

困ったときは一人で抱え込まない

寺院、医療機関、公的な相談窓口、警察、信頼できる人など、状況に合う相手へ相談してください。祈りの後に小さな行動を一つ選びましょう。